

世界子供白書 2016 統計表

表	区分	含まれる統計の例
表 1	基本統計	子ども(5歳未満児、乳児、新生児)の死亡率、総人口、年間出生数、5歳未満児の年間死亡数、出生時の平均余命など
表 2	栄養指標	低出生体重児出生率、母乳育児、低体重、ビタミン A の完全補給率など
表 3	保健指標	改善された飲用水源や衛生施設を利用する人の割合、予防接種率、肺炎や下痢、マラリアの治療や予防策を受けた割合など
表 4	HIV/エイズ指標	HIV 感染率、HIV と共に生きる人、女性、子どもの人数、若者でコンドームを使用した割合、エイズで孤児となった子どもの数など
表 5	教育指標	若者の識字率、人口 100 人あたりの携帯電話やネット利用者数、就園率、初等教育就学率・出席率、中等教育就学率・出席率など
表 6	人口統計指標	人口(全体、18歳未満、5歳未満)、人口の年間増加率、平均余命、合計特殊出生率、都市人口の割合、都市人口の年間平均増加率など
表 7	経済指標	国際貧困ライン 1 日 1.90 米ドル未満で暮らす人の割合、一人あたりの GNI、一人あたりの GDP の年間平均成長率、世帯当たりの所得の分布など
表 8	女性指標	対男性比の識字率や就学率、避妊法の普及率、出産に関するケアの割合、妊産婦死亡率など
表 9	子どもの保護指標	児童労働、児童婚、出生登録、女性性器切除/カッティング、妻へのドメスティックバイオレンスの正当化、子どもへの暴力的なしつけなど
表 10	前進の速度	5歳未満児死亡率の順位、5歳未満児死亡率の年間平均削減率、合計特殊出生率の変遷など
表 11	青少年指標	婚姻状態にある青少年(15-19歳)の割合、15-19歳の女子 1,000 人あたりの出産数、青少年によるマスメディアの利用など
表 12・13	公平性指標	公平性について、居住地域(表 12)では都市部と農村部との比較、世帯の豊かさ(表 13)では所得最下位 20%と最上位 20%とを比較している 出生登録、専門技能者が付き添う出産の割合、初等教育純出席率、改善された衛生施設を利用する人の割合など
表 14	子どもの早期ケア指標	幼児教育の出席率、おとなによる学習支援、家庭での学習教材(児童書、遊具)、ケアが十分に行き届いていない子どもなど

※国や項目によっては、データが入手できなかったものや、断り書きのあるものも含まれます

※本白書に掲載されている統計は、2015 年までに収集されたものとなります

詳しくは、世界子供白書 2016 特設ページをご覧ください <<http://www.unicef.or.jp/sowc/>>